

氏名	山本郁	所属	材料システム工学科	職位	教授
----	-----	----	-----------	----	----

職務	項目例	割合【%】		活動内容
		計画	実績	
教育	授業担当 卒業研究 専攻科研究 授業改善 教材開発 教科書執筆 など	計画	30	1.前期と後期それぞれ本科の専門科目7科目, 専攻科1科目の授業を行う, 2.各科目の授業改善を行い, クラス内の学力向上に努める, 3.卒研究生4名, 専攻科生1名の研究指導を行う.
		実績		
研究	自主研究 外部資金研究(科研費ほか) 共同研究 技術相談 論文・解説・著書学会等発表 特許など	計画	30	1.従来から公費で進めてきている鋳鉄に関する研究を本科生と共に進め, 国内学会で発表を行う. 2.企業との共同研究を前年度と同様に積極的に推進する. 3.研究成果を国内外雑誌に論文発表する. 2件 4.国際学会にて耐摩耗材料に関する研究発表を行う. 5.科研費の申請に必要な研究を推進する.
		実績		
学生生活指導	学級担任 学生相談 課外活動指導 コンテスト指導 など	計画	5	1.バスケットボール部顧問として, 引率業務を行う, 2.学会で開催される鋳造方案コンテストの指導を行う.
		実績		
校務 / 管理運営	主事, センター長, 室長 学科長, 委員長 学級担任 主事補, センター委員, 室員 委員会委員 など	計画	20	1.学科長として, 学科の運営, 教員のサポート, 学生指導の指揮を行う.
		実績		
社会活動	学会での活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流活動 学外団体活動 など	計画	15	1.日本鋳造工学会本部理事, 支部長, 編集委員として, 運営に携わる. 2.各学会における業務の分担 3.学術論文の査読審査を行う, (依頼ベース) 4.学科で主催する説明会, 出張講義, イベントに携わり, 学科の受験倍率の向上を目指す.
		実績		

## 教員業務内容報告書

報告者氏名	山本郁			所属	材料	職位	教授	報告年度	令和5年度
分野	計画				実績			記載事項例	
	エフォート	内容			エフォート	内容(計画からの変更点)			
教育	30	材料工学システム入門, 図学, 基礎設計製図, 塑性加工学, 融体加工学, 材料システム実験3, 材料システム実験5, 材料組織制御 卒業研究4名 授業アンケートの評価の向上 実験テキスト改訂			30	計画通り実施した.		担当科目名・ 単位数 卒業研究・ 専攻科研究指 導学生数 教育方法改善 内容	
研究	25	論文2件 学会発表 2件 共同研究(奨学寄付金)3件 技術相談1件 科研費獲得のための実験遂行 スナナリー工科大学博士課程学生指導			25	ほぼ計画通り実施した. 論文3件, 共同研究(奨学寄付含む)5件, 技術相談1件, 特許申請1件		論文 著書 総説・解説 学会等発表 特許 共同研究 技術相談 科研費 外部資金	
学生生活指導	5	バスケットボール部顧問 生鋳物コンテスト□			5	計画通り実施した. 学生鋳物コンテストには研究室学生がチームとして参加し, 発表を行った.		クラブ顧問 コンテスト指導	
校務・管理運営	30	材料システム工学科学科長 CBT科目レビュー責任者			30	学科長として, 学科運営を円滑に遂行した		主事 その他の長 学科長 委員長 部長 主事補等 担任 委員会委員 部会員	
社会活動	10	日本鋳造工学会, 日本鉄鋼協会, 金属学会, 溶接学会 日本鋳造工学会本部理事, 日本鋳造工学会九州支部支部長, 日本鉄鋼協会九州支部評議員, 溶接学会九州支部理事, 日本溶接協会九州地区溶接技術検定委員会評価員, 熱処理協会九州支部基礎教育セミナー 学科関連の公開講座, 授業分担 海外大学とのMOU推進			10	ほぼ計画通り実施した. 海外大学とのMOU締結については, 継続中		所属学会名 学会活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流 学外団体活動	

(注) エフォートは各職務にかける(出力×時間)の割合(%)で表示, 最小単位を10%あるいは5%とし合計100%となるように記載する。

(注) フォントのサイズは10pt~12ptとし, 記入欄の行の高さは記入内容に合わせて変更する。